



# 議会だより

平成28年

8月  
18号

おおたわら市 “題字は引地達雄議長”

No. 176



議会報告会を初開催(上:6/30湯津上支所、下:6/27大田原東地区公民館)

# 《 特 集 》

## 議会報告会初開催

大田原市議会では6月27日から30日の4日間、市内4会場において、議会基本条例に基づき議会報告会を初めて開催いたしました。この報告会では、審議した議案の内容などについて報告を行ったほか、会場を訪れた市民の方々と意見交換を行いました。

各会場では、参加者から議会、市政に対する貴重なご意見・ご要望等をいただきました。

これらお寄せいただきましたご意見等は、全議員が今後の議会活動において議論や政策提言に反映させてまいります。

### 内容

- (1) 報告事項
  - ・平成28年第1回定例会(3月議会)の審議内容及び行政視察報告
- (2) 意見交換会
  - ・地域公共交通について
  - ・今後の議会報告会のあり方について

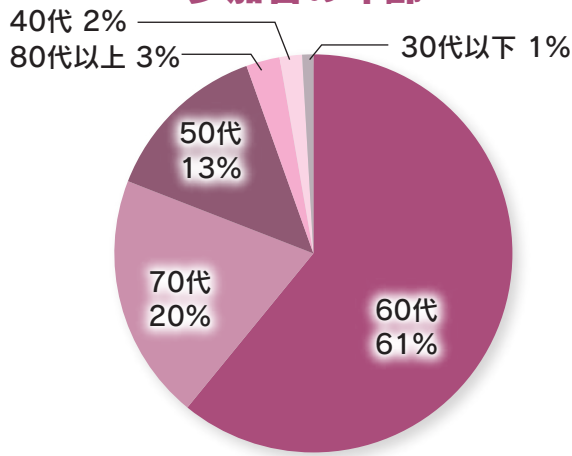


6/28黒羽川西地区公民館

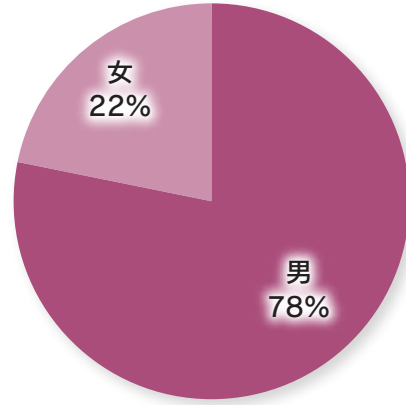
班 構 成	開 催 日	会 場	参加者数
第1班 小池(班長)、秋山、印南 滝田、櫻井、高木、千保	6月27日	大田原東地区公民館	41人
第2班 菊池(班長)、弓座、深澤 中川、黒澤、高崎	6月28日	黒羽川西地区公民館	37人
第3班 君島(班長)、鈴木、藤田 前野、本澤、小林、前田	6月29日	金田北地区公民館	29人
第4班 高瀬(班長)、星、大豆生田 高野、引地、小野寺	6月30日	湯津上支所	38人
合	計		145人

### 議会報告会アンケートの集計結果をお知らせします。(回答率 76%)

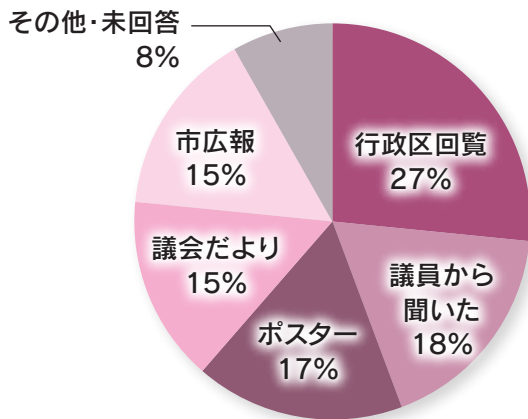
#### 参加者の年齢



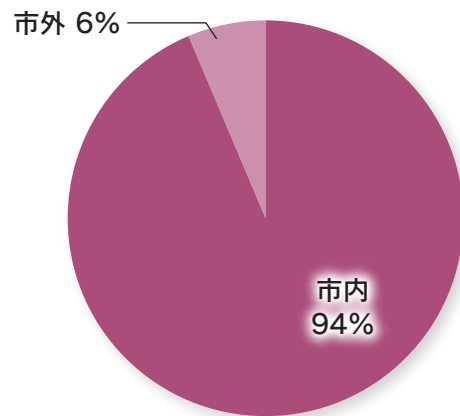
#### 参加者の性別



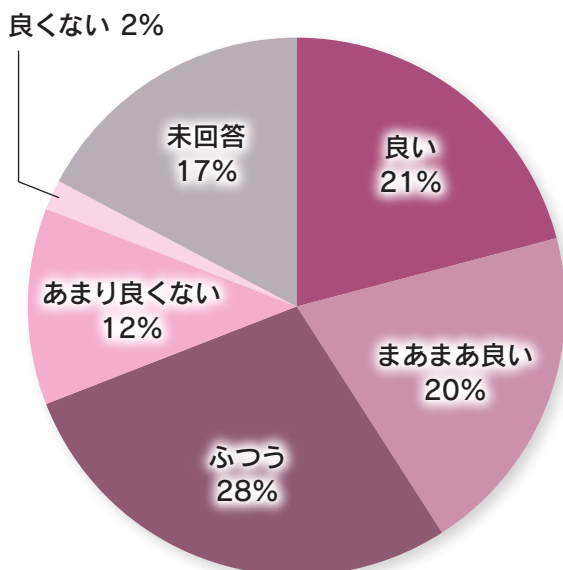
#### 報告会を知った理由



#### 参加者の居住地



#### 報告会の感想

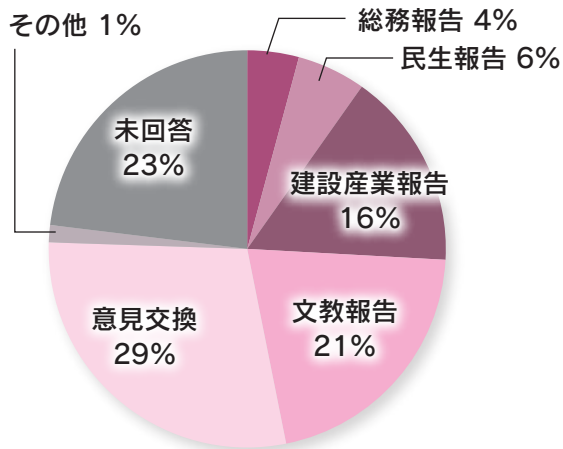


「良い」の21%と、「まあまあ良い」の20%を合わせ、41%の方から良いとの評価をいただきました。一方で「良くない」、「あまり良くない」という評価が14%ありました。

「年に数回行ってほしい」、「意見交換会があってよかった」、「とてもよい機会」、「わかりやすい言葉で説明してほしい」、「質問時間が足りず残念」という様々な意見がありました。



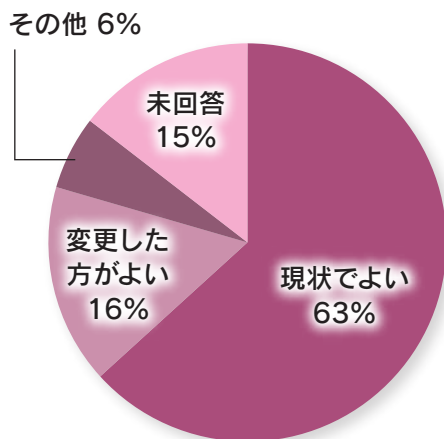
### 報告会の内容でよかったもの



意見交換会がよかったとする方が29%で最も多く、次いで文教、建設産業常任委員会の報告内容という結果となりました。

しかし、「内容が理解しがたい。簡単に要約して説明報告を望みます」、「今回の報告内容なら議会だよりで十分。議員の勉強不足の感があり」という意見もありました。

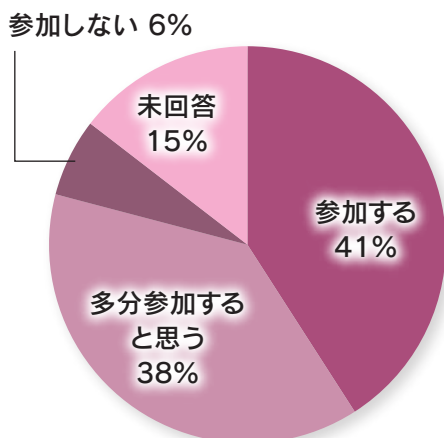
### 報告会の日時・会場について



今回の報告会は、平日の午後7時から市内4会場で行いましたが、それに対して「現状でよい」と感じた方が半数以上を占めました。

一方で、「若い方々にも来てほしいので曜日の検討を願います」、「土日の早い時間が良い」、「時間が短すぎる」との変更した方がよいとする意見がありました。

### 次回も報告会に参加しますか？



今回の報告会を受けて、次回以降の報告会参加についての問いに、「参加する」の41%、「たぶん参加すると思う」の38%を合わせ、79%の方が参加に前向きな結果となりました。

また改善を求める意見なども寄せられたことから、報告内容や進め方に工夫をこらし、多くの方に足を運んでもらえるようにしていきます。

## 議会報告会に対する要望や意見

※アンケートで出された要望等を一部抜粋（原文のまま掲載）

やや専門的すぎる部分があった。市では今何が課題になっているのか、市民に対してどんな協力を期待しているのか、率直に話していただくと良かったと思います。

もう少し、砕けた空気の中で話し合えるようにはできないでしょうか。

議員の方は、ペーパーレスをタブレットで行われていますが、市民は昔のままです。字は大きく分かりやすく、時間配分や発言の内容（プロジェクター）をプリントしたものを資料として配布してもらいたい。

出席する人がもう少し多いといいと思うのですが、ちょっと残念です。

18歳選挙権が始まるのにあたって特別若い人の出席があるとよかったと思う。

質疑応答、意見交換会等について時間が余りにも短い気がいたします。

報告会自体の総時間が1時間とは少し短いのではないかな。

第1回ということで、期待を持ちすぎた感が残る。意見交換が一番有意義だった。

各委員会の仕事内容等は、わかりやすくイラスト等でプレゼンテーションをすると、よりわかりやすい。

議会の内容は、議会だより等で周知されているので、議員との意見交換を主としては。

視察について、まとめて報告する等の興味を持つテーマの報告があると良い。

議員の説明内容が抽象的で中身が分かりにくかった。

車座の意見交換会はよかった。

回答できる方がいて欲しい。

市民の声を反映してほしい。



6/29 金田北地区公民館  
(車座による意見交換会の様子)

平成28年  
第2回

市議会定例会

バイオマス産業都市  
構想策定委員会新設

平成28年第2回定例会は、去る6月13日から23日までの11日間を会期として開かれました。

本定例会に市長から提出された案件は、継続費繰越計算報告・繰越明許費繰越計算報告・一般財団法人管理公社ほか4法人の経営状況についての報告3件、条例の改正議案など12件、また議会からは、陳情1件及び議員案1件が提出されました。

主な議案としては、大田原市附属機関設置条例の一部を改正する条例や大田原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についてでありました。

市長の附属機関として大田原市バイオマス産業都市構想策定委員会を新設するため条例改正

するものです。また、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正については、保育士不足に対応した保育士配置要件弾力化に対する規定で、受け入れ児童が少ない状況での保育士資格者の配置人数緩和ほか、小学校教諭などの有資格者や保育士と同等の知識及び経験を有した者と市長が認める者を保育士とみなすものであります。

また、一般会計補正予算(第1号)のうち、国の補助金を活用した畜産振興費「畜産競争力強化整備事業費」については、国の事業不採択により減額補正措置を講じたものであります。

これらを含め採決では全議案とも原案どおり可決されました。

一般質問については、3日間で17人の議員が質問を行いました。議案と一般質問の詳細については次ページ以降をご覧ください。

平成28年 第2回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議案件名	結 果
報告第5号	平成27年度大田原市繰越明許費繰越計算報告について	報告受理
報告第6号	平成27年度大田原市継続費繰越計算報告について	報告受理
報告第7号	一般財団法人大田原市管理公社ほか4法人の経営状況について	報告受理
議案第35号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(平成27年度大田原市一般会計補正予算(第7号))(基金への積立や地方債の変更等の補正)	承認 (全会一致)
議案第36号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(大田原市税条例等の一部を改正する条例の制定について)	承認 (全会一致)
議案第37号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(大田原市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認 (全会一致)
議案第38号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(大田原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認 (全会一致)
議案第39号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(鈴木美知子氏・新任)	推薦することに 異議なし(全会一致)
議案第40号	大田原市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について(バイオマス産業都市構想策定委員会を新設することによる改正)	原案可決 (全会一致)
議案第41号	大田原市特別職の職員等で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について(バイオマス産業都市構想策定委員会委員の職を新設することによる改正)	原案可決 (全会一致)
議案第42号	大田原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(避難用設備の規定の見直し及び保育士配置要件の弾力化を図るための改正)	原案可決 (全会一致)

議案番号	議案件名	結果
議案第43号	大田原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(放課後児童支援員の資格要件に義務教育学校の教諭となる資格を有する者を加えるための改正)	原案可決 (全会一致)
議案第44号	大田原市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について(個人番号カードの利用について、更なる市民の利便性の向上と利用形態の多様化に対応するための改正)	原案可決 (全会一致)
議案第45号	大田原市議会議員及び大田原市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について(公職選挙法施行令の一部改正に伴う改正)	原案可決 (全会一致)
議案第46号	平成28年度大田原市一般会計補正予算(第1号) (補正金額:2億3,760万円の減)	原案可決 (賛成多数)
陳情第4号	「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書に関する陳情書	採 択 (全会一致)
議員案第2号	川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

### 平成28年 第2回市議会定例会における表決状況一覧 (賛否が分かれた議案)

議案	秋山	印南	星	鈴木	滝田	弓座	櫻井	高木	高瀬	菊池	深澤	中川	大豆	小池	藤田	君島	前野	高野	黒澤	引地	本澤	小野	千保	高崎	小林	前田	
議案第46号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○


(○:賛成 ×:反対 ※引地達雄議長は採決に原則加わりません)

**「市民5分間演説」をしてみませんか**

大田原市議会では、市内に在住、在勤または在学する方で、議案に対する賛否や市の一般事務について、自分の意見を自由に発言することができ「市民5分間演説」を実施しております。

ぜひ議員の前で演説をしてみませんか。市民の皆様への参加をお待ちしております。詳細については議会事務局までお問い合わせください。


(演説申込について)  
演説を希望される方は、土曜日、日曜日、祝日を除く、定例会の各常任委員会開催日3日前の正午までに議会事務局に市民5分間演説申込書(様式第1号)を提出してください。なお、演説に関する詳細については市議会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。



大田原市議会では、市内に在住、在勤または在学する方で、議案に対する賛否や市の一般事務について、自分の意見を自由に発言することができ「市民5分間演説」を実施しております。


ぜひ議員の前で演説をしてみませんか。市民の皆様への参加をお待ちしております。詳細については議会事務局までお問い合わせください。

## 暑中お見舞い申し上げます



公職選挙法第199条の2において、公職の候補者等が選挙区内の方々に対して、お中元、お祭り等の寄付、新盆の供物等、従来から慣行として行われているようなものも寄付に該当し禁止されておりますので、市民の皆様のご理解をお願いいたします。

大田原市議会議員一同





親園地区の将来像  
について



高瀬 重嗣 議員

**質問**…主要地方道大田原氏家線親園佐久山バイパスのライスライン以北の整備促進と市道親園佐久山線の親園中学校西側拡幅改良は総合的に行われるべきだと考えるが市の考えを伺いたい。

**答弁**…バイパスのライスライン以北のルートは示されていないが、市道親園佐久山線に近いルートになることは予想される。議員が指摘のとおり親園佐久

山バイパスのライスライン以北の整備促進と市道親園佐久山線の拡幅改良は、総合的に行うべきと考えている。それにはこの地区の土地登記に関する問題を解決する必要がある。そのためには、土地改良事業の導入が私是最善と考える。

**質問**…中学校周りは、区画割はできていて、農作業に関してはさほど不便ではない地域である。

バスが入るのも困難な親園中学校への将来の統合も考えると地籍調査をかけ公図の整理をして環境を整えるべきではないか。

**答弁**…手法としてはある。しかし土地改良を進めた方がより迅速で市負担も少ない。私も親園周辺の道路整備はやりたいということは一緒です。

一般質問

健幸ポイントプロジェクトについて



菊池 久光 議員

**質問**…健幸ポイントプロジェクトの登録状況について伺いたい。

**答弁**…平成26年度事業開始当初が525人、平成27年度が500人の参加、合計で1025人でございます。現在は、999人の参加者で、年齢比率は60代が48%、70代が24%、最高齢は93歳となっております。

**質問**…どのような意識で参加している人が多いのか、また効果

検証などについて伺いたい。

**答弁**…この事業は、3年間の実証実験事業として最終年度の3年目を迎えており、詳細な成果等は今後結果を分析し出されることとなります。平成27年度のアンケート調査では、やつてよかった79%、自分の健康に関心を持つようになった67%、健康づくりをする習慣が身についた51%という結果であります。

**質問**…平成29年度以降、登録者を対象に何らかの健康施策を継続する考えはあるか伺いたい。

**答弁**…今年度でこの事業が終了することから、これまでの実驗結果を分析検証し、今後新しい事業計画を作成し、来年度からは現在の参加者も含め、より多くの市民の皆様に参加いただくるような形で進めていきたいと考えております。



# 中学生の英語力 アップについて



大豆生田 春美 議員

**質問**…今年度新たな研究授業等の予定はあるか伺いたい。

**答弁**…平成28年度英語教育に関し新たに2つの事業実施を予定しています。まず1つ目は、イングリッシュデーの実施です。小学6年生の希望者を対象に市内の施設を利用した日帰りのプログラムを計画しています。ALTが準備したコミュニケーション、国際理解、スポーツな

ど幾つかの活動プログラムを英語だけでコミュニケーションしながら楽しく体験する内容を予定しています。2つ目は、小中学校におけるALTスペシャルデーの実施です。本市で採用しているALT8名全員が1つの学校に集まり、児童生徒と触れ合う時間を提供しています。普段子どもたちが接するALTは特定の1名ですが、この特別訪

問の日は国籍や性別の違う8名のALTと授業をしたり一緒に給食を食べたり休み時間に遊ぶことができます。児童一人ひとりが外国人とコミュニケーションする経験を積むことでコミュニケーション力や国際理解の素地が養われ、将来世界で活躍できるグローバル人材の基盤づくりに繋がると期待しています。

# 一般質問



滝田 一郎 議員

# 在宅介護が困難な 方への施設サービス 提供について

**質問**…介護認定者の増加に定員の伸びが追いつけず倍近い人が居住系サービスを受けられなくなる。施設の待機状況について。

**答弁**…現在22施設で定員696人、待機状況は申込み数が472件ですが実数とは異なります。

**質問**…施設サービス提供は喫緊の課題と考えるが対策について。

**答弁**…問題解消のため介護老人福祉施設を29床、来年4月開所

に向け事業を進めています。

**質問**…栃木県で一番高い本市の介護保険料を次期でどうするか。引き続き高い認定率と施設サービス基盤の充実か。一方でこれ以上の保険料の増額に高齢者は耐えられるのかについて。

**答弁**…高齢者の負担を大きくせず満足のいくサービスを提供できる政策を考えていきます。

**質問**…今後の居住系増床は既存

施設の定員増が効率的といった考え方について。

**答弁**…十分検討してまいります。

**質問**…ショートステイの稼働率が低いとすれば定員枠の一部を居住系へ振り向けてはと考える。現在の稼働率について。

**答弁**…6月1日現在、定員は197名、利用者は127名で利用率64・47%です。

食品ロス削減に  
向けての取り組み  
について



小池 利雄 議員

**質問**…学校等における学校給食や食育教育等を通して、食品ロス削減の啓発について伺う。

**答弁**…子供のころから考え、問題意識を持っていただけるよう取り組みを実施していきたいと考えております。

**質問**…家庭における食品在庫の適切な管理の啓発活動の取り組みについて伺う。

**答弁**…各家庭で食品を使い切る、

無駄に買わない、買ったものは使い切るという意識の浸透を図り、食品ロスが削減され、生ごみの発生抑制となるよう広報紙等により働きかけていきます。

**質問**…本市の災害備蓄食品の取り扱いについて、現状と今後の未利用備蓄食品の有効活用について伺う。

**答弁**…防災意識の向上や家庭内備蓄の促進を図ることを目的と

して、小中学校での防災教育や自治会での自主防災活動等に提供して活用していきたいと考えています。

**質問**…フードバンク創設を取り組む考えがあるか伺う。

**答弁**…フードバンク大田原の活動を周知すると共に、新たな食料品の保管場所の確保、市内企業への呼びかけなど、後方支援をしていきたいと考えています。

一般質問



本澤 節子 議員

教育体制の拡充  
について

**質問**…不登校児にも公立高校進学を可能とする体制を市は保障し、県に要求すべきと思うが考えはどうか。

**答弁**…本市では不登校の児童生徒が社会的自立に向けて、みずからの進路を主体的に形成していくための生き方を支援するという共通理解のもと、市教育委員会と教職員が綿密に連携しながら、不登校児童生徒の個別対

応に取り組んでおります。教育相談体制を充実させることで、児童生徒の不登校を未然に防ぐことにも力を入れており、議員

ご指摘の公立高校への進学という点については、県立高校受験に際して中学校在学中の欠席が多かった生徒がみずからの言葉で欠席の理由等を申告できる自己申告書という制度もあります。

**質問**…奨学金を返済しなくても

すむ全額給付型を実現すべきと思うがどうか。

**答弁**…平成26年度に条例の一部を改正し一部の返還を免除することにより、実質的に給付する制度を開始し、平成29年4月から給付を受けられる方が決定いたします。今後、さらなる制度の充実を目指していきます。

新庁舎建設について  
建設場所の地盤及び  
入札について



深澤 賢市 議員

一般質問

給食費無料化に  
ついて



高木 雄大 議員

**質問**…新庁舎建設場所のボーリング調査の公表について伺う。

**答弁**…平成27年度に支持地盤の固さを調査するため標準貫入試験を5箇所行い、強固な地盤であると確認しました。

**質問**…新庁舎の建設の入札状況について、現在の進捗状況はどのようなになっているのか、伺います。

**答弁**…入札公告は、4月中旬に

行い、現在施工候補者の選定作業中であり、その中で技術提案を受付している状況です。

今後審査会を経て、技術提案の出身を審査した上で、採用されるべき技術提案、採用できない技術提案、という振り分けをしたうえで、それを施工工事者の方に伝えて、今のところ7月下旬には、入札を行う予定です。

**質問**…入札について透明性が絶

対的なものと思うが、入札の選考経緯に関して議事録は公開するのか、伺います。

**答弁**…選定委員さんの氏名については、事後公表という形でありませぬ。それまでの経過についても施工業者が決定した後ホームページで公表しますので、その中でも経過については、明らかにする形で公表する予定です。

**質問**…今後の課題について伺いたい。

**答弁**…時間が経過すると、どうしても当然のことである意識され、感謝の気持ち薄れてしまうことが懸念されますので、

新学期には学校を通して保護者宛てに給食費無料化の趣旨を伝える通知の配付や、お昼の校内放送を利用して給食費の無料化に関する紹介を行っております。

また、無料化が実施されてから3年が経過しておりますので、再度アンケート調査をして、保護者のご意向などを確認したいと考えております。

**質問**…今後の継続について市長の答弁を伺いたい。

**答弁**…自分が市長をやっている限り、継続をしていきたいと思っております。

確かに3億円という巨費では

ありますが、小学校建設、市庁舎建設が終わりますと、大きなハコモノ行政というのは一応ピリオドが打てると思っておりますので、この政治公約はしっかりと守っていける、そのように思っております。



医療向けウィッグに  
対する助成制度の  
導入について



高野 礼子 議員

**質問**…抗がん剤による副作用で脱毛してしまった方をどのような形で捉えているのか伺います。

**答弁**…今や2人に1人がガンになると言われている時代で、ガンとの闘いは決して他人事ではない、明日は我が身に起こっても不思議ではない病気であり、ます。現在は医療も進歩しており、さまざまなガン治療も取り入れられておりますが、特に女性が悩

むのは、副作用で痛みや吐き気よりも髪の毛や眉毛、まつ毛の脱毛という調査結果もあるようです。

**質問**…医療用かつらの購入費用の助成に対する市の考え方を伺います。

**答弁**…市民には予防という観点から健康づくりに励んでもらうために、健幸ポイントプロジェクト事業の導入や検診の無料化

など他市町と比較してもより多くの費用を検診と予防にかけています。しかしガンになってしまった場合、女性やお子さんは髪の毛がないことには抵抗があるようです。

今後財政状況等も勘案しながら、医療用かつらの購入費用等の助成の検討をさせて頂きたいと思っております。

一般質問

防犯灯の調査及び  
設置について



秋山 幸子 議員

**質問**…若者や学生が学費や生計に役立てるため、アルバイトに従事していることは少なくありません。国際医療福祉大学の学生が図書館で勉強し、市内への坂道を自転車で帰宅する時にもう真っ暗です。また市内のコンビニの周りは明るくても、途中の道が暗いため改善してほしいとの声が届いています。市内を調査し、安全安心のために防犯灯

の設置を求めます。

**答弁**…防犯灯は、夜間の犯罪を未然に防止し、市民の皆さまが安全で安心して暮らせるまちづくりの推進を目的に設置し、平成28年4月1日現在、市内6614箇所を設置しております。

東日本大震災後、灯具のLED化を進め、節電と省エネルギーに努めていることから、防犯灯の新規設置は毎年1自治会につ

き要望基数を原則3基までとしております。地元に通じている市政事務嘱託員である自治会長に自治会内の要望箇所の取りまとめをお願いしているところ

です。自治会長より新規設置の要望をいただいた箇所については、現地調査をすることで対応したいと考えています。

地場産業の振興について



鈴木 央 議員

一般質問



中川 雅之 議員

スマートフォンアプリ（ICT）を活用した市民参加型のインフラ管理制度の導入について

**質問**…スマートフォンアプリ（ICT）を活用した市民参加型の

インフラ管理制度を導入すべきと思うが、市の考えを伺います。

**答弁**…スマートフォンアプリを使った市民参加型のインフラ管理については、市民がインフラ点検要員となり、日常生活の中で発見した道路や公園など公共施設の不具合についての情報をスマートフォンから提供し、市

の担当者や他の市民と共有する

ことができ、また、担当課において、現場に行くことなく具体的な状況・GPSによる位置を確認することで、業務効率の向上を図るメリットがあります。

しかし、導入に当たってのコストが大変高額であることから、当面の間は、既存の市民の声ポストメール版を最大限に活用していきたい。

**質問**…大田原市のメール配信サー

ビス「よいちメール」を活用して、市民参加型ICTの推進は出来ないのか伺います。

**答弁**…「よいちメール」については、文字情報だけの一方通行の情報提供となっておりますが、今回の質問を聞き、内部でも幾つかの方法を活用することを研究していきたいと考えています。

**質問**…今後の取り組みについて伺います。

**答弁**…地域経済の活性化を図るには、地場企業と誘致企業間のネットワークづくりや経営面技術面など総合的な支援体制の充実が課題となっております。

本市においては、大田原市産学官連携推進委員会が組織され、地域に立地企業、研究機関、大学、医療機関が連携して新製品の開

発や新事業の創出に向けた取り組みを行っております。

これらに対する支援のほか今年度は異業種交流事業の支援として、3Dプリンター活用のための共同研究及び製品開発に対する助成も行っていきます。

また市の地場産業振興策として、中小企業者向けの低利な設備資金や創業支援資金等の制度を有し、さらに事業再開奨励金

交付事業、特許や実用新案、意匠登録の費用を補助する産業財産権出願支援事業や全国的な展示会への出店費用を補助する展示会等出演支援事業等の各種補助金による支援策を実施しております。

副市長二人体制を  
復活すべき



千保 一夫 議員

**質問**…市の政策形成能力と政策推進能力を高めることが喫緊の課題であると思うがどうか。

**答弁**…市長自ら先頭に立ち財政改革を推進するため、副市長1人制とし、経費の節減を図っている。今後も継続する。

**質問**…副市長の人件費は主査あるいは係長2人分弱だ。それでももつたいないですか。

**答弁**…副市長は2名、給料は満額、

市長も給料満額、退職金も満額戴いて、職員は行政改革のため人員を削る、とは言えない。そう考えて、わたしも給与のカットや退職金のカット、あわせて人員削減として副市長も1人に行っている。

**質問**…市の財政改革の先頭に立つということでは市長自らが給料カット、退職金カットをしている、本当ですか。

**答弁**…1期4年間はやった。2期目はアベノミクスの効果があり、給料は戻した。2期目からは退職金は戴きます、それで良かったら津久井富雄を選んで下さいといつて選挙をした。

一般質問



小野寺 尚武 議員

市民意識調査の中の  
暮らし向きの結果について

**質問**…市民の意識調査が実施されその中に、私が昨年の議会で提案しておいた「市民の暮らし向き調査」も実行していただきました。市民の皆さんの今日の暮らしの実情は大変苦しいものだと思います。当局はこのアンケート結果をどう活用していくのか伺います。

**答弁**…時代の背景とともに団塊の世代が年金者生活になったと

いうことで、先行きに不安を感じる方が若干多くなってきたというところで常日頃から高齢化少子化の問題は申し上げておりまして、高齢化社会においてどのような施策をとっていかなければ市民の皆様方の不安の払拭は出来ないということ、まずは高齢者の方々には元気でいてほしいということ、元氣

政策です。

それと生きがいを持って頂きたいということで、生きがい政策、この2つをあわせて高齢者社会を価値ある人生の集大成として市民生活が送れるような、バックボーンを我々が作り出すためのひとつの指針として政策をつくり上げていかなければならないそのように感じております。



栃木県立高等学校再編  
計画に基づく市長の  
考え方について



高崎 和夫 議員

**質問**…昨年 9 月定例会一般質問以降の本市の対応について伺いたい。

**答弁**…栃木県の県立高校再編に関する検討会議では、今後の望ましい県立高校のあり方についての提言を行い、この中で全日制高校の学校規模は、原則として 1 学年 4 から 8 学級を適正規模とすると提言しております。

また高校の配置については、

人口減少が著しい地域などでは、

将来を支える人材の育成など、

高校が地域振興に果たす役割への期待が高まっていることから、

一部の地区では特例として適正

規模未満の高校も認めていくこ

とが望ましいとしております。

本市としては、地域のニーズ、

特色化の可能性、中学生の進路

希望等を検証し、市内 4 校が子

供達の希望が叶えられるよう要

望活動を行っていききたい。

**質問**…県立黒羽高校に特色ある

学校づくりでの支援をしていく

べきと考えるが。

**答弁**…大田原市においても中山

間地の中で、存続を図っていく

こと及び地域資源を生かす若い

力を育てていく必要がある。

県には、再編計画の中にあつ

ても位置付けて、残してもらえ

るようやっていきたい。

一般質問



印南 典子 議員

子ども未来館について

**質問**…有料化になったので、決まったお小遣いを与えられてないお子さんは足が遠のいてしまう。お金が無いので利用できない。雨の日などは家でゲームなどをして遊んでいる。その様なお子さんに少しでも多く利用してもらおう為に年間パスポートを発行するのはどうか。割安のパスポートで、有料化で利用できなくなつたお子さんの助けにな

るのではないかと。

**答弁**…私、常々、知恵と愛のあ

る協働互敬のまちづくり、お金

がないなら知恵を出してという

ことで、今回、印南議員からの

ご提言は大変知恵のある工夫を

されたご提言を頂いて感銘して

いるところです。年間パスポ

ート等につきまして、調査研究

に入りたいと思います。

**質問**…フロアーにベビーベッド

がおいてあると、赤ちゃんを置

いて上の子をみてあげること

でき、多額のお金を投資しなく

ても優しさと思いやりのある配

慮になるのではないかと。

**答弁**…ベビーベッドの設置につ

きましても、よく現場の方と調

整して検討していきたいと思

います。

平成28年  
9月定例会  
開催のお知らせ

会期(予定)  
9月5日(月)  
～  
9月20日(火)

市議会HPは  
こちらから



※ 一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。

市議会ではインターネットによる生中継をしております

●アクセス方法

ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「大田原市議会」から「議会中継」のページへお進みください。

なお、本会議の中継は本庁舎及び各支所・出張所のディスプレイ等においてもご覧いただけます。なお、本会議の録画映像も市ホームページにて配信しておりますのでぜひご覧ください。



●大田原市ホームページ

<http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/>

●お問い合わせ先

大田原市議会事務局 ☎23-8714

一般質問



星 雅人 議員

大田原市史編さん事業  
と地域資料の収集、  
保存、利用について

**質問**…合併前の1市1町1村には、大田原市史、黒羽町誌、湯津上村誌がありますが、大田原市史前編は1975年、後編は1982年に発行されており、黒羽町誌は1982年、湯津上村誌は1979年に発行となっており、既に30年から40年が経過しています。市制施行70周年に向けて担当を置き、新しい大田原市史編さん事業を始めるべ

きと思うが、市の考えをお伺いいたします。  
**答弁**…現在の大田原市を範囲とする市史の編さんについては、本市に対する関心と愛着を深め、市外に情報を発信し、市勢発展のための基礎資料となるものとしてその必要に迫られているものと認識しております。  
近年の他の自治体の例では、市史編さんの期間については最

低でも10年を必要とし、現実的には計画変更をして15年以上を要しています。8年後の市制施行70周年に完結できるかどうかわかりませんが、事務局の設置、専門家の確保を初めとする組織体制の整備に向けて関係部署間で協議をし、できるだけ早期に着手できるように準備を進めていきたいと考えております。

# 協議会及び委員会の内容

## 4月～6月

### 全員協議会

4月15日

(報告事項)

- 1 次期大田原市総合計画の策定に伴う市民意識調査の結果について
- 2 新庁舎基本設計の策定について
- 3 平成27年度情報公開の状況について
- 4 請願・陳情採択事件処理状況の報告について
- 5 「第40回パリマラソン大会」派遣選手の成績について
- 6 大田原市議会パンフレットについて

5月15日

(報告事項)

- 1 平成27年度大田原市一般会計補正予算(第7号)について
- 2 「平成28年度大田原市の家計簿」について
- 3 平成27年度市営バス全路線及びデマンド交通の年間利用者及び収入状況について

(協議事項)

- 1 各種委員等の選任について

6月23日

(報告事項)

- 1 大田原市地域おこし協力隊の活動内容の報告について
- 2 総務常任委員会行政視察の報告について
- 3 民生常任委員会行政視察の報告について
- 4 建設産業常任委員会行政視察の報告について
- 5 文教常任委員会行政視察の報告について

(協議事項)

- 1 各種委員等の選任について

### 総務常任委員会

6月20日

- 1 付託議案の審査

### 民生常任委員会

6月20日

- 1 付託議案の審査

### 文教常任委員会

5月31日

- 1 所管事項調査



若草中学校にて

### 議会運営委員会

6月8日

- 1 平成28年第2回市議会定例会の運営について

6月23日

- 1 議員案について

### 議員定数等に関する特別委員会

5月16日

- 1 市民(区長会)の意見聴取について
- 2 議員報酬について
- 3 政務活動費について

6月23日

- 1 区長会役員会からの意見聴取結果について
- 2 全議員からの意見聴取について

### 議会広報聴取委員会

4月13日

- 1 議会だよりの発行について
- 2 議会報告会の報告内容の協議について

6月8日

- 1 議会報告会運営の協議について

6月28日

- 1 議会だよりの協議



議会だよりの編集作業の様子



# 議 会 日 誌



- 13日 ○ 広報広聴委員会
- 15日 ○ 全員協議会
- 19日 ○ 那須地区議員交流会
- 21日 ○ 栃木県市議会議長会議
- 26日 ○ 岡崎市議会行政視察受入
- 関東市議会議長会総会

- 11日 ○ 知多市議会行政視察受入
- 16日 ○ 全員協議会
- 17日 ○ 議員定数等に関する特別委員会
- 民生常任委員会行政視察  
(長崎県大村市、長崎県諫早市、長崎県長崎市19日まで)
- 文教常任委員会行政視察  
(沖縄県石垣市、沖縄県名護市、沖縄県那覇市19日まで)
- 18日 ○ 建設産業常任委員会行政視察  
(長野県小布施町、千葉県山武市、東京都荒川区20日まで)
- 20日 ○ 江別市議会行政視察受入
- 23日 ○ 総務常任委員会行政視察  
(新潟県長岡市、石川県かほく市、石川県金沢市25日まで)



- 24日 ○ 角田市議会行政視察受入
- 新潟市議会行政視察受入
- 指宿市議会行政視察受入
- 26日 ○ 県北5市議長会議
- 文教常任委員会所管事項調査
- 31日 ○ 全国市議会議長会総会

- 6日 ○ 議会運営委員会
- 8日 ○ 広報広聴委員会
- 13日 ○ 平成28年第2回市議会定例会招集  
(本会議)
- 15日 ○ 本会議 (一般質問)
- 16日 ○ 本会議 (一般質問)
- 17日 ○ 本会議 (一般質問)
- 20日 ○ 総務常任委員会
- 民生常任委員会
- 23日 ○ 本会議 (議決)
- 議会運営委員会
- 全員協議会
- 議員定数等に関する特別委員会
- 27日 ○ 議会報告会
- 28日 ○ 議会報告会
- 広報広聴委員会
- 29日 ○ 議会報告会
- 30日 ○ 議会報告会

## みなさんの お願い・陳情

(委員会審査状況)

### 陳情第4号

「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書に関する陳情  
(平成28年4月提出)

(提出者)

下都賀郡壬生町幸町2-28-4  
川の日を国民の祝日に

しよう会

会長 桑原 史朗

(陳情の趣旨)川の恩恵を享受していることに感謝し、川の大切さを考え直す国民の祝日として「川の日」を制定するよう国に意見書の提出を求めるもの

(総務常任委員会審査の内容・結果) 審査した結果、

「本市は、川との縁が深く、市を紹介するときは、那珂川、箒川、蛇尾川が出てきますし、生命体の源でもあるので、この陳情は採択すべき」との意見があり、本委員会では全員異議なく採択とすることにしました。

## 意見書 提出

6月定例会の最終日に議員より「川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書」(案)が議長に提出され、本会議において議員案第2号として上程し、可決いたしました。なお、この意見書につきましては、議長において関係機関へ送付いたしました。



### 川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書

身近な川と遊び親しみ、自然の大切さを学び、川の恩恵に感謝する記念日として、「川の日」を国民の祝日に定めることを求める理由は下記のとおりである。

#### 記

- 1 川は、山の湧水から生まれ、生命体の命の水となって海へ流れ込んでいく。その古から変わることのない営み(生活の知恵)が自然環境生態系を創り出しており、我々の日々の暮らしと切っても切れない自然美豊かな川との付き合いによって、大きな恩恵を享受していることを感謝するため。
- 2 油断をしないで、突然の川の猛威(自然の力)への対策を怠らずに、常日頃から川の恐ろしさを学習する日、その一方で大切な川(自然)の保護と防災、そして利水・治水を有効に活用するため官民一体となり対策に万全を期するため。
- 3 川に流れる水の恩恵を受けて、希少価値の小さな命が懸命に生きている姿を見て、我々は勇気と元気を貰っている。そのような自然環境を守り育てるため。

以上のように、「川の日」を川の恩恵を享受していることに感謝する日、そして一人ひとりが川の大切さを考え直すきっかけの日となるよう、国民の祝日に制定することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年6月23日

栃木県大田原市議会議長

引地 達 雄



提出先：内閣総理大臣、国土交通大臣、環境大臣、衆議院議長、参議院議長、栃木県知事

# 各常任委員会行政視察報告

5月の下旬に、総務、民生、建設産業、文教の4常任委員会が、それぞれ行政視察を行ってまいりました。各常任委員会の報告は以下のとおりです。

## 総務常任委員会

5月23日～25日(所管事項調査)

### 一 新潟県長岡市

#### 「アオーレ長岡について」

アオーレ長岡は、アリーナ、ナカドマ(屋根付広場)及び行政施設が一体となった複合施設で、全国初の1階にガラス張りの議場や、講演会からコンサートまで幅広く使える交流ホールなど様々な施設で、稼働率はオープン以来85%を超えている。

### 三 石川県金沢市

#### 「大桑防災拠点広場について」

大規模災害に備え、備蓄倉庫機能を有した防災拠点施設を計画的に整備する必要があることから、金沢市の東部地区の拠点として緊急物資の集配拠点及び緊急避難場所として大桑防災拠点広場が整備され平常時には、親子を対象とした防災教育が行われている。

### 二 石川県かほく市

#### 「定住促進の取り組みについて」

人口減少対策として、転入の増加を図るため、若者に注目される施策として定住人口プロジェクトの取り組みを始め、若者のマイホーム取得奨励金制度やスポーツ婚活出会いサポート、新婚さん住まい応援事業など、年々事業の拡大を図っている。



アオーレ長岡にて

## 民生常任委員会

5月17日～19日(所管事項調査)

### 一 長崎県大村市

#### 「Love&Safety (ラブアンドセーフティ) おおむら事業」

0歳から19歳の子どもの死亡原因の第1位は、病気ではなく不慮の事故である。大村市は、関係機関とのネットワークを通じて情報を共有し、早期の予防対策や効果的で持続性のある社会システムを構築している。

### 三 長崎県長崎市

#### 「包括ケアまちななかラウンジ運営事業」

長崎市の医療では、「あじさいネット」という仕組みが出来ている。これは、拠点病院の電子カルテを、かかりつけ医、薬剤師、看護婦が患者の承諾を得て、インターネットを通じて医療に関する情報を閲覧出来るシステムである。かかりつけ医が常に情報を把握しているため、切れ目のないスムーズな診療・治療が出来る。

### 二 長崎県諫早市

#### 「ごみ・リサイクル事業」

諫早市では、「資源物ストックハウス」を市内20か所に設置し、転居や家庭の事情で資源物を長期保管することが困難な場合に、市民がいつでも持ち込める場所として利用されている。



諫早市役所にて

### 建設産業常任委員会

5月18日～20日(所管事項調査)

#### 一 長野県小布施町

#### 「町並み修景事業について」

小布施町では、町民や企業の理解と協力のもとに歴史や風土を大切にしながら格調ある住宅、店舗づくりにより、個性をもった町並み景観が形成されている。

美しい町並み、景観によつて年間100万人を超える観光客が訪れている。

#### 二 千葉県山武市

#### 「バイオマスタウン構想について」

山武市では、地域資源循環型のまちづくりに取り組んでいる。木質バイオマス炭化事業の検討を進めるほか、木質プラスチックの開発、被害材を利用した家具づくりなどの森林資源の活用のほか、農業と森林とが共存する元気なまちづくりの実践を目指している。

#### 三 東京都荒川区

#### 「MACC(マック)プロジェクトについて」

マックプロジェクトとは、モノづくりに関わる新事業展開を支援する取り組みであり、区内企業のネットワークを構築し、技術と知恵を集結して新たな事業を絶え間なく生み出す「荒川区版産業クラスター」の形成を目指している。企業が元気になることで、荒川がもつと元気になることを目指している。



荒川区役所にて

### 文教常任委員会

5月17日～19日(所管事項調査)

#### 一 沖縄県石垣市

#### 「スポーツウエルカム石垣島について」

石垣島は、プロ野球やサッカーのなでしこジャパンなどのプロスポーツ選手等をはじめとする各種競技のキャンプや合宿を誘致する取組みを行っている。本市も、東京オリンピックや栃木国体に向けて、キャンプ地誘致活動や大会開催会場として、受け入れ態勢を整え、情報発信をしていくことが望まれる。

#### 二 沖縄県那覇市

#### 「文化財について」

那覇市には、世界遺産である首里城をはじめ数多くの文化財があり、今回視察した識名園(しきなえん)も世界遺産に登録されている。文化財は、我が国の長い歴史の中で生まれ、今日まで伝えられた貴重な国民的財産で後世に伝えていくことが望まれる。

#### 二 沖縄県名護市

#### 「スポーツリハビリテーションセンターについて」

スポーツと医療が一体となった施設は、市民の健康づくりや疾病予防、基礎体力向上などを行うと共に、医療機関が併設されているためリハビリなども行われている。



スポーツリハビリテーションセンターにて

## 永年在职議員の表彰

全国市議会議長会より永年在职議員の表彰があり、第2回市議会定例会初日に表彰伝達式が行われました。

(10年表彰) 黒澤昭治 議員

(10年表彰) 高野礼子 議員



# 質問通告者と質問事項

※8月下旬頃にホームページで会議録が公開されます。

## ○高瀬 重嗣 議員

- ①子供の事故を予防するために
- ②身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付手続きについて
- ③親園地区の将来像について

## ○菊池 久光 議員

- ①健康ポイントプロジェクトについて
- ②消防団について
- ③保育行政について
- ④黒羽芭蕉の里全国俳句大会について

## ○大豆生田 香美 議員

- ①妊産婦健診の充実について
- ②中学生の英語力アップについて
- ③若者の投票率アップについて

## ○滝田 一郎 議員

- ①子育て世代の就労支援のための待機児童対策について
- ②在宅介護が困難な方への施設サービス提供及び要支援認定者サービスとの地域支援事業への移行について
- ③社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金の積極的な活用について

## ○小池 利雄 議員

- ①食品ロス削減に向けての取り組みの推進について

## ○本澤 節子 議員

- ①放射能対策について
- ②教育体制の拡充について
- ③「高齢者が笑顔で百歳を迎えられる大田原市」について
- ④庁舎建設について
- ⑤農業行政について
- ⑥非正規雇用を無くしていく運動

- ⑦市民の声について

## ○深澤 賢市 議員

- ①庁舎建設について
- ②太陽光発電について
- ③経営所得安定対策等交付金制度について

## ○高木 雄大 議員

- ①給食費無料化について
- ②学校教育について
- ③中央多目的公園(防災公園)について

## ○高野 礼子 議員

- ①オリンピック出場について
- ②施設整備について
- ③医療向けウィックに対する助成制度の導入について
- ④新大田原レインボープランについて
- ⑤TTP協定について

## ○秋山 幸子 議員

- ①大田原市の教科書採択について
- ②大田原市にフィルムコミッションを設立することについて
- ③大田原市の平和教育について
- ④防犯灯の調査及び設置について
- ⑤大田原市にFMラジオ局の開設することについて

## ○中川 雅之 議員

- ①河川、水路、ため池等「法定外公共物」の里親制度の導入について
- ②スマートフォンアプリ(ICT)を活用した市民参加型のインフラ管理制度の導入について
- ③電力自由化に伴う市有施設における電気料金の削減策について

## ○鈴木 央 議員

- ①地場産業の振興について

- ②障害者優先調達推進法について
- ③旧大田原地区広域消防組合消防本部跡地について

## ○千保 一夫 議員

- ①副市長2人体制を復活すべき
- ②市長発言の重さについて
- ③市が早急に取り組むべき重要な事案について
- ④市の情報非公開の姿勢について
- ⑤公の施設の指定管理者の指定のあり方について
- ⑥道の駅那須与一の郷の管理代行の実態について
- ⑦市水道事業給水条例について
- ⑧学校統廃合は慎重に進めるべき
- ⑨次期一般廃棄物最終処分場整備に向けた基本的考え方について
- ⑩株大田原ツーリズムの経営について

## ○小野寺 尚武 議員

- ①3月議会の継続質問について
- ※⑨から⑪については時間切れのため質問できませんでした。
- ①財政運営(地方債・歳計現金)について
- ②市民意識調査について
- ③新庁舎建設について

## ○高崎 和夫 議員

- ①栃木県立高等学校再編計画に基づく市長の考え方について
- ②山村開発センターの整備について
- ③高館城址の整備について

## ○印南 典子 議員

- ①高齢者はほほえみセンターについて
- ②子ども未来館について

## ○星 雅人 議員

- ①人口減少時代のまちづくりについて
- ②大田原市史編さん事業と地域資料の収集・保存利用について



〈大 輪〉

大森 清五 さん



6月の市議会を傍聴したことで、原稿の執筆の依頼がありました。

初めての市議会の傍聴でした。昨年の市議会議員選挙で、無投票で当選された議員26人が出席していました。無投票なので市民の審判は受けていませんが、大田原市民と市のためにどのように活動しているのか興味がありました。

それぞれの議員が、どのような考えを持ち、何をしたいと思っているのかを知る機会を得ました。質問者が、市長と市執行部に過去の検証と今後の課題に対して真剣に質問をしていました。傍聴席には、市政に関心を持っている有権者が沢山傍聴していました。

東日本大震災から5年3か月が経過して、新庁舎建設や小学校の改築工事等費用に多くの公費が投入されます。震災復旧工事のインフラ整備は良くなっていますが、ゆとりと憩いの場、または観光関係施設の復旧はまだまだ遅れていると感じます。この件に関して前向きな回答がありました。時間がかかりますが、少しでも早く実現を期待します。

議員と市執行部の真剣な質疑応答は迫力もあり、市民のために一所懸命に働いていることがよく分かりました。「18歳選挙権」が適用されましたので、土曜日、日曜日の議会開催を是非お願いしたいです。

最後に、議員の方々や市役所職員の方々に敬意を払い、益々のご活躍を期待します。